



令和7年 11月 21日 岐阜市子ども・若者自立支援教室



12月号



岐阜市子ども・若者自立支援教室ってどんなところ?

- 〇岐阜市子ども・若者総合支援センターが開設している自立支援教室で、市内に5教室あります。(下※1を参照)
- ○主に不登校で困っている児童・生徒の皆さんや、相談をご希望の保護者の方や先生方に利用していただいています。
- ○教科学習のほか、読書、創作活動、集団遊びなどの仲間と関わる活動を行っています。

また、年に8回程度、スポーツ・金華山登山・自然体験・音楽体験などの「ふれあい活動」を行っています。

市民総合体育館からインストラクターを迎え、岐陽体育館で軽スポーツを体験しました。はじめに「マツケンサンバⅡ」のダンスに挑戦しました。インストラクターの速い動きについていこうと、必死に覚えようとする姿や、すぐに覚えて軽やかに楽しそうに踊る姿がありました。その後「ボッチャ」「わなげ」「カローリング」「ラダーゲッター」「ストラックアウト」を体験しました。自分が興味をもったところからスタートし、自由にコーナーを回って挑戦しました。中には、気に入った種目を極めようと、同じ種目に何度も取り組み、コツをつかもうと努力する姿もありました。午後は、「モルック」を楽しみました。初めて会った通所生同士で作戦を練る姿が微笑ましかったです。市民総合体育館のスタッフや他の教室の通所生と交流し、各種スポーツを通して自然に仲良くなることができました。

第7回保護者の会「ぼちぼちいこか」

11月は、「心とからだの健康」をテーマに、臨床心理士の講話を聴きました。参加者によるグループトークや意見交流を行った後、全体交流では、子どもの様子や話題になったことを共有したり、講師に質問したりしました。講師は、「(大人が)陥りがちな同じ考えの繰り返しに、変化を与えるきっかけになれば」との想いで講話をしたそうです。参加者の質問に答えながら、「子の悩みを自分のこととしてとらえる視点を持ち、一緒にその課題に向き合うことが大切なのでは」と話しました。

参加者の感想の一部を紹介します。

- ○なんとなく思っていたことが、講師の話を聴いて クリアになった。
- ○配偶者以外の人に、初めて子どもの悩みを話すことができて、よかった。親から変わっていかなければ、と感じた。
- ○自分の心や頭の堅さを実感した。自分が精一杯生きる中で、子どもと一緒に考えていきたいと思った。

第8回保護者の会「ぼちぼちいこか」

日時 12月10日(水) 13:30~15:00

会場 岐阜市中央青少年会館 テーマ「子どもの可能性」

・不登校で悩まれている保護者の方が、思いやお子さんへの 接し方等を交流し、より良い方向について一緒に考えていく 会です。今回は、自立支援教室の元支援員がアドバイザー として、元通所生がメンターとして参加します。申し込みは 不要です。

・開催の有無につきましては、"エールぎふ"のホームページにてご確認いただくか、電話にて"エールぎふ"教育支援係 (269-1321)へ

お問い合わせください。(ホームページ https://yell-gifu.jp/)



■ふれあい活動の日は、全ての教室が閉室です。 R8年 1月は、8日(木)から開室です。



TEL 243-2011

◆ 自立支援教室の開室時間

月曜日・・・・・・ 9:30~12:00 火・水・木・金曜日 9:30~14:00 (※午後閉室のときがあります)

◆ バスの送迎

火・木・金曜日 (※月・水曜日はありません) 朝 9:00発 帰り 14:00発

※1 <岐阜市子ども・若者自立支援教室>

•芥見教室 (岐阜市教育研究所内)

・明徳教室1(子ども・若者総合支援センター内)
・明徳教室2(子ども・若者総合支援センター内)
・七郷教室 (七郷公民館隣り)
・ 世場教室 (岐陽体育館内)
TEL 269-1321
TEL 234-8551
TEL 240-7012

■相談をご希望の方は、岐阜市子ども・若者総合支援センター "エールぎふ" までご連絡ください。 総合相談(TEL **0120-43-7830**)